



2021年2月12日

各位

上場会社名	ココヨ株式会社
代表者	代表取締役社長 黒田 英邦 (コード番号 7984 東証一部)
問合せ先責任者	執行役員 理財本部長 梅田 直孝 (TEL06-6976-1221)

「長期ビジョン CCC2030」の策定に関するお知らせ

当社は、2021年2月12日開催の取締役会において、以下の通り「長期ビジョン CCC2030」を決議致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 策定の背景

当社グループを取り巻く事業環境は、デジタル化の進展や、それに伴う働き方や学び方の多様化によって、大きく変化してきています。変化のなかに新しい事業機会がある一方で、既存事業の改善だけでは変化に追随できないため、現状のままでは大きく成長していくことが難しい状況にあると認識しています。

2. 策定の目的

当社グループが、今後もお客様に価値を届けて社会から必要とされるために、「新しい体験価値の創造」をテーマに「長期ビジョン CCC2030」*を策定しました。変化する顧客ニーズを捉えて事業領域を拡大し、新しい事業を次々と生み出していくことで、持続的な成長を実現します。

* CCC とは、「Change, Challenge, Create」を表します。

3. 内容

(1) 企業理念の刷新と強みの再認識

企業理念を「be Unique.」に刷新し、長期的な視点から新たな方向性を示すことから変革を始めます。当社グループは、これまで文具や家具、オフィス空間を中心に多くのお客様の創造力の発揮に寄り添い、サポートをしてきました。その営みは、人々の個性を輝かせ、未来の社会を豊かにすると信じています。当社グループは、人々の創造性を刺激し続け、人々がお互いの個性を「ユニークさ」として共感し合う豊かな地球社会の実現に貢献します。

また、当社グループの強みを「共感共創」と再認識し、経営理念として新たに掲げます。1905年の創業より革新的な商品やサービスを生み出し、事業領域を広げてきましたが、そ

の根底にある「お客様の課題に共感し、新しい体験を創造する力」を基軸に据え、経営を行っていきます。

(2) 経営モデルの変革と成長戦略

当社グループの強みを発展させてさらなる成長を実現するために、「森林経営モデル」へと変革します。これは、森林の土壌にあたる当社グループの共通資産を有効活用しながら、次々と新しい事業を生み出し、サステナブルに成長していく多様な事業の集合体になることを目指すものです。

事業においては、成長戦略として「顧客体験価値の拡張」に取り組みます。顧客接点の強化により、強みである「共感によって体験を創造する力」をこれまで以上に高め、働き方・学び方における新しい体験を創造していきます。①デジタルによるアナログ体験価値の高度化、②顧客の活動データを活用した新しい商品・サービスの展開、③スモールマスの付加価値ニーズへの対応、以上3点を重点的に推進することで、事業領域の拡大と成長を実現します。

また、その実現に向けてグループ運営機能を大幅に強化し、全社共通資産の活性化と有効活用を図ります。事業ポートフォリオ管理の強化や、ESG とリスクマネジメントの推進によってサステナブルな経営基盤を構築するとともに、事業家人材の育成と外部からの獲得、投資実行力の強化、スタートアップ投資やCVC活用、デジタル改革の推進によって事業創出力を高め、企業価値の向上を図ります。

(3) 目標

上記の戦略を遂行していくため、資産の有効活用を図りつつ、1,800 億円の戦略投資を行います。

これにより事業の創出と領域拡大を進め、2030 年売上 5,000 億円の実現を目指します。

以上